

# わかやま 県議会 だより 12月 定例会号

No.11  
平成23年  
【2011】  
2月6日発行

高野山 御影堂(高野町)

主な記事

- 2~3面 12月定例会の概要
- 4面 議会活動/県議会を見る・聞く/  
300回記念式典



## 農林水産委員会

農林水産委員会では、昨年10月に県農林水産総合技術センター「果樹試験場」で取り組んでいる鳥獣害対策について調査しました。

本県では、毎年約3億円にのぼる鳥獣による農作物被害が発生し続ける中、当試験場では、平成21年に鳥獣害対策チームを結成し、その実態の解明や被害対策に取り組んでいます。

当試験場の実態調査では、被害の大部分が果樹で発生しており、その対策として、防護柵の設置や捕獲などが行われているものの、ミカンや野菜などの廃棄場所が野生動物（主にイノシシ）の格好のエサ場になっていることから、被害を減らすには、まず廃棄果実等をなくすことが重要であると啓発しています。



また、イノシシやニホンザル等の獣類被害を防止するため、エサ対策や追い払いシステムの開発に向けた研究が行われています。

今回の調査では、鳥獣害対策について意見交換を行い、その課題解決に向けたさらなる取り組みの強化を要望しました。

# 常任委員会 活動リポート! パート2



また、加太菜園株式会社では、現在までの経緯や現況、今後の方針等について説明を受けた後、意見交換を行うため、尽力いただくよう要望しました。

総務委員会では、昨年10月に広域防災拠点（コスモパーク加太防災ヘリポート）及び加太菜園株式会社を訪問し、調査を行いました。

広域防災拠点では、概要説明を受けた後、防災ヘリ「きしゅう」による救助訓練の状況を視察しました。近い将来、東南海・南海地震の発生が懸念され、最近の異常気象でゲリラ豪雨が頻繁に発生していることから、県民の命と財産を守るため、さらなる訓練の積み重ねを要望しました。

## 総務委員会

前号に引き続き、6つの常任委員会のうち、今回3つの委員会の活動を紹介します。

## 文教委員会

文教委員会では、昨年10月に県立日高高等学校で調査を行いました。

平成20年に併設型の中高一貫教育校として日高高等学校附属中学校を開校し、3年目を迎え、その取組状況、今後の目指す方向等について学校側より概要説明を受けました。



委員より、23年度の総合科学科・普通科の学級数、中学校1年時と3年時との学力幅、日高郡内と郡外の生徒の学力差、中学校受験への評価、クラブ活動での中高連携等について質問があり、学校側との意見交換を行った後、校内を視察しました。

今後とも日高高等学校のさらなる発展、また本県高校教育の発展のため尽力されるよう、要望しました。

# 12月定例会の概要

## 会期日程(19日間)

11月	29日(月)	本会議・常任委員会
	30日(火)	本会議
12月	1日(水)	議案調査
	2日(木)	
	3日(金)	
	6日(月)	
	7日(火)	
	8日(水)	本会議 (一般質問)
	9日(木)	
	10日(金)	
	13日(月)	常任委員会
	14日(火)	
16日(木)	本会議・常任委員会	
17日(金)	本会議	

## 知事説明要旨

第2期県政にあたり、「和歌山を元気に あたため改革」をスローガンに掲げ、4つの政策を実行してまいります。第1に、産業振興や企業誘致などで働く場をもっと増やします。第2に、福祉・医療など、安全安心の更なる向上に努めます。第3に、スポーツ・文化の振興、都市の再生等で活力と品格のある和歌山づくりを進めます。第4に、県民の伸びるチャンスを増やすため、道路などのインフラを充実させます。



## 一般質問議員 16人

12月8日(水)	12月9日(木)	12月10日(金)	12月13日(月)
向井嘉久藏	森 礼子	大沢広太郎	花田 健吉
多田 純一	雑賀 光夫	片桐 章浩	山下 大輔
松坂 英樹	原 日出夫	奥村 規子	井出 益弘
浦口 高典	川口 文章	前芝 雅嗣	中村 裕一

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は次のとおりです。(要約抜粋)

**問** やる気のある企業に対し、研究開発、商品化、販売と一貫した支援体制が求められている。わかやま産業振興財団の役割は大きい、どう考えるか。

**答** やる気がある企業に対しては、企業の技術や新商品の開発、さらには販路開拓など、わかやま産業振興財団を中核支援機関と位置づけ、県工業技術センターなども連携しながら、一貫して支援していく。

## 県内中小企業の育成



**問** 国土交通省の成長戦略会議の方針にのっとり、関西国際空港と伊丹空港の統合案が示されたが、どう考えるか。

**答** 国が率先して有利子負債の問題に取り組みとうとしていく点は一歩前進と評価するが、今回の統合案でこれがすべて解消されるのか、空港運営に地元自治体の意見が反映されるシステムになっているのか等の課題について、きちんと担保するよう国に強く意見を言っていく。

## 関西国際空港と大阪国際(伊丹)空港の経営統合

**問** ダンプキングの激化によるデフレスパイラルが深刻化しており、設計単価の決定過程に大きな影響を及ぼしている。和歌山方式として独自の決定方法を検討してはどうか。

**答** 設計単価は基本的には国の考え方に基づいているが、明らかでない事情で和歌山県は別の算定方法をとるべきだときちんと説明できる場合は配慮したい。それが和歌山方式になると考えている。

## 建設業界を取り巻くデフレ対策

**問** 鉄道のスピードアップ化を促進しないと、「和歌山の陸の孤島化」がますます進行する。南海本線や高野線の時間短縮やJR紀勢本線への新たな快速電車の導入等、これら鉄道のスピードアップ化に対する県当局の取組は。

**答** 南海本線や高野線のスピードアップ化は、事業者が鋭意取り組んできており、さらなる時間短縮は容易ではない。またJR紀勢本線への新たな快速電車の導入についても、現在の利用状況から厳しいと聞いている。しかしながら、県として今後とも事業者に粘り強く働きかけ、鉄道の利便性の向上に努める。

**問** 設計単価は基本的には国の考え方に基づいているが、明らかでない事情で和歌山県は別の算定方法をとるべきだときちんと説明できる場合は配慮したい。それが和歌山方式になると考えている。

**デフレスパイラル**  
デフレ(持続的に物価が下がっていく現象)になっても需要が上昇せず、さらにデフレを進行させ、景気がどんどん悪くなる状況。

## 鉄道の利便性向上

**問** 現在、見直し案として、例の評価の廃止・軽減、一定期間受注していない事業者向けの特別枠の設置など、さまざまな検討を進めている。今回の申し入れの趣旨を踏まえ、見直し案を早急に取りまとめ、議会や各地域の事業者の意見を幅広く聴き、よりよい制度となるよう取り組んでいきたい。

## 入札制度の改善

**問** 制度導入以来、それぞれの地元でいろいろな意見を聞き、それらを集約して10月初旬に8項目の申し入れを行った。知事も選挙を通じてさまざまな意見を聞いたと思うが、申し入れについてどう考えるか。

**答** 現在、見直し案として、例の評価の廃止・軽減、一定期間受注していない事業者向けの特別枠の設置など、さまざまな検討を進めている。今回の申し入れの趣旨を踏まえ、見直し案を早急に取りまとめ、議会や各地域の事業者の意見を幅広く聴き、よりよい制度となるよう取り組んでいきたい。

**問** 知事は、幅の狭い恋野橋(橋本市)を架け替えること約束したが、どうか。

**答** 市や促進協議会から要望がある県道山内恋野線の恋野橋は、今後、早く事業化できるよう、地元関係者の意見を聞きながら、具体的なルート確定など、早急に着手する。

## 恋野橋の架け替え



## 看護学生の修学資金制度

**問** 看護師不足が続く中、看護学生への修学資金の貸与総額・貸与人数が減少しているが、制度の拡充は。

**答** 看護職員の確保対策については、「養成力確保・就業促進・離職防止・資質向上」を4本柱として、量と質の両面にわたり取り組んでいる。看護学生を対象とした修学資金制度の拡充については、今後、看護職員確保対策全体の事業の中で効果的な方策を検討する。

**問** うつ病は、不登校やひきこもり、自殺にまで至ることもある。早急に総合的なうつ病対策ビジョンを策定し、県民を守る必要があると思うが。

**答** 平成25年改定予定の「和歌山県における自殺対策の推進基本方針」を平成23年度から見直し、「自殺・うつ病対策の基本方針」に改め、うつ病患者の支援体制のあり方、認知行動療法的位置づけなど、総合的な対策の方向性を盛り込む。

## うつ病対策の計画策定

## 議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	8件	平成22年度和歌山県一般会計補正予算等	可決
決算案件( // )	2件	平成21年度和歌山県歳入歳出決算の認定について等	認定
条例案件( // )	14件	知事及び副知事の給与その他の給付条例の一部を改正する条例等	可決
その他案件( // )	23件	平成22年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	//
請願	2件	教育改革についての請願	継続審査
		TPP交渉に関する意見書の提出を求める請願	採択
意見書・決議	8件	環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉参加に反対する意見書	可決
		議員の位置付けの明確化及び都道府県議会議員の選挙区制度の見直しの早期実現を求める意見書	//
		関西広域連合への権限移譲を求める意見書	//
		参議院選挙制度に関する意見書	//
		公契約に関する基本法の制定を求める意見書	//
		国立大学関係予算確保を求める意見書	//
		関西国際空港と大阪国際(伊丹)空港の経営統合案に対する意見書	//
		仙谷由人内閣官房長官並びに馬淵澄夫国土交通大臣の猛省を求める決議	//

## 会期中の主な動き

- 給与条例改正に伴う常任委員会の開催
  - 総務委員会、経済警察委員会、文教委員会 (11/29)
- 特別委員会の開催
  - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 (12/13)
- 歯科保健推進に係る条例案検討会(定数13人)の設置
 

平成22年12月16日就任

◎尾崎 太郎	○服部 一	
前芝 雅嗣	森 礼子	平木 哲朗
岸本 健	新島 雄	坂本 登
中村 裕一	浦口 高典	長坂 隆司
奥村 規子	中 拓哉	

※詳細は4面に記載 ◎座長 ○副座長

**問** 平成22年8月に県人口が100万人を切り、25年後には73万人になるとの推計もあるが、これを食い止める積極的かつ大胆な施策があるのか。

**答** 原因は社会減にあることから、約80社の企業誘致を実現し、県内企業の技術力強化や販売促進、農林水産業や観光等の産業活動を活発にして、働く場をつくることに努力してきた。引き続き、元気なわかやまの創出を目指し、数々の施策に取り組みとともに、「子育て環境No.1わかやま」を目指し、自然減対策も講じていきたい。

### 人口減少対策



エルトゥールル号殉難将士慰霊碑

**問** 日本とトルコの友好の原点となったエルトゥールル号の映画制作が企画されているが、これに対する知事の考えは。

**答** エルトゥールル号を映画化することは県の名誉であり、観光振興面でも大変期待している。現在、担当部局で町、映画制作関係者と会合を持って情報交換を行っているが、今後、実現のためにできる限りの協力をしていく。

### エルトゥールル号の映画制作

**問** 知事は、農産物輸入完全自由化を進めるTPP問題をどう認識し、県経済と産業への影響をどう考えるか。

**答** TPP問題は、競争で不利ではないか、影響を受ける産業をどう守るかという二面性があるが、基盤整備予算の大幅な削減など農業競争力強化策を放棄している中で、TPPに参加することは常軌を逸しており、影響が大きい。今後、生産性の向上、競争力の強化等、農業基盤整備を国に働きかけていく。

### 県営射撃場の建設

**問** 宿泊施設の多い和歌山市または周辺市町への建設が望ましいが、財政難の市町に負担を求めず、県で建設を進めるべきではないか。

**答** 射撃場建設については、従来の4条件のうち、現在は国庫補助金の活用を除く3条件が基本と考えている。鳥獣害による深刻な被害を各地で聞き、鳥獣を捕獲するハンターの確保が必要であり、農家や猟友会、市町村等の意見を聞きながら鋭意検討し、総合的に考えていきたい。

TPP

「環太平洋戦略的経済連携協定」の略称。協定参加国間における貿易に関する関税を原則として完全撤廃し、完全自由化を目指すもの。

### TPP参加による影響



派遣された県教員

JAXA (ジャクサ)

「独立行政法人宇宙航空研究開発機構」の略称。宇宙をもとに、学校の先生と連携して授業を行うなど、学校教育支援も実施している。

**問** 県教育委員会はJAXA宇宙教育センターと宇宙教育活動に関する連携協定を締結したが、その経緯と宇宙教育の意義は。

**答** NASAで開催された教員研修プログラムへの県教育委員会職員の派遣をきっかけに、県教育の一層の充実を目的に協定を締結した。今後、理数系教科のみならず、環境教育、外国語教育等、児童生徒の学習への興味・意欲を高めるとともに、広く科学への関心を持たせたい。

### 宇宙教育の意義

### 住宅リフォーム助成制度の導入

**問** 経済・雇用対策として、住宅リフォーム助成制度が有効と考える。耐震・バリアフリーといった限定されたものではなく、幅広く利用できる制度を導入しては。

**答** 現在、県・市町村では住宅の耐震化など喫緊の課題に対応する助成制度を実施しており、できるだけ利用してもらえよう、説明用の冊子作成や総合的な窓口を設置するなど、制度の周知に努めている。今後各種助成制度の有効活用を図っていく。

**問** 品川女子学院では、企業とのコラボレーションや起業体験プログラム、大学との連携などを通じて社会人や大学生と接する機会を設けている。本県でも実践してはどうか。

**答** 品川女子学院の教育は、社会とのつながりを重視し、生徒が主体的にみずから設定した目標に向けて学び続けることを主眼に置いている点で大変素晴らしい。現在進めている地域共育コミュニティを生かし、児童生徒が主体的に自己の生き方や社会との関係を深く考える取組を広げていく。

### 教育のあり方



**問** 病児のいる保育所への看護師、保育士の派遣、集団保育が可能になるまで地域の看護師に預かってもらう制度など、女性が仕事と子育てを両立するための取組は。

**答** 病児・病後児保育事業は県内7カ所の保育所・医療機関で、病児等の一時預かり事業は県内3カ所のファミリーサポートセンターで実施されているが、十分ではない。議員から提案のあった制度の可能性も検討しながら、引き続き病児・病後児保育の充実を努める。

### 病児・病後児保育の取組

# 見聞

県議会を

## テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

### テレビ テレビ和歌山(WTV)

**県議会だより** 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送(2月定例会放送予定 2/14、23~25、28~3/3、9)

**県議会手話だより** 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送(2月定例会放送予定 3/15)

### ラジオ 和歌山放送(WBS)

**県議会ダイジェスト** 開会、質問、閉会日の22時から15~30分間放送(2月定例会放送予定 2/14、23~25、28~3/3、9)

## 県議会ホームページ

和歌山県議会

和歌山県議会

検索

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

## 傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

### 平成23年2月定例会 会期日程(予定)

本会議	2月14日(月)
本会議・常任委員会	2月16日(水)
本会議(質問)	2月23日(水)~25日(金)・28日(月)~3月1日(火)
予算特別委員会	3月 2日(水)~ 3日(木)・ 8日(火)
常任委員会	3月 4日(金)・ 7日(月)
本会議	3月 8日(火)・ 9日(水)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

### 「点字版・テープ版」のご案内

本紙の点字版、テープ版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

### 虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。

- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄附行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)

### 編集後記

今回初めて常任委員会の県内調査に同行し、現場の取組状況を聞く中で、大変貴重な体験をさせていただきました。そうした調査活動を少しでもお伝えできればと、厳しい寒さに負けず、スタッフ一同、熱い気持ちで頑張りました。

**マークのある駐車スペースは障害のある方のためのスペースです** 障害のある方以外の方は他の駐車スペースをご利用ください

発行日/平成23年2月6日  
編集・発行/和歌山県議会  
〒640-8585(県庁専用郵便番号)  
和歌山市小松原通1-1  
☎ 073-441-3570



## 議会活動

ぎかいかつどうトピックス

# TOPICS



谷洋一議長、山下直也副議長をはじめ多くの議員が出席し、平成21年11月にサンパウロで開催された県人会創立55周年記念式典での思い出話や、久しぶりにふると和歌山に里帰りされた感想などを語り合い、交流を深めました。

### ブラジル和歌山人人会表敬訪問 (10月12日)

在ブラジル和歌山人人会連合会から木原会長をはじめ46名の皆様と和歌山に里帰りされ、県議会を表敬訪問されました。

### 関西広域連合が発足し、広域連合議会議員を選出

9月定例会で設立に関する議案を可決した「関西広域連合」が、12月1日に総務大臣の許可を受け発足しました。

これを受け、12月17日の本会議において、広域連合議会議員に尾崎要二議員と吉井和視議員を全会一致で選出しました。

なお、12月13日に開催された行政改革・基本計画等に関する特別委員会では、当局から、「広域連合長に兵庫県の井戸知事が、副広域連合長に仁坂知事が就任した」、「広域連合委員会(各府県の知事で構成)における重要事項の意思決定は、全会一致とする仕組みとした」、「本県に広域職員研修の事務局が設置された」等の報告がありました。

### 歯科保健推進に係る条例案検討会を設置

県議会では、県民の歯と口腔の健康づくりを推進するため、議員提案による歯科保健推進に係る条例の制定に取り組みます。

そのために、12月定例会の会派代表者会議において、全会派の賛成で歯科保健推進に係る条例案検討会の設置を決定しました。そして、12月16日に開催した第1回条例案検討会において、座長に尾崎太郎委員、副座長に服部一委員を選出しました。

県民の歯と口腔の健康、そして元気な笑顔を守るべく、県議会7件目となる、議員提案による政策条例の制定を目指し、さらに検討を深めてまいります。



## 県議会開会300回記念式典を開催



和歌山県議会は、地方自治法施行後に初めて開かれた昭和22年5月臨時会を第1回として、平成22年12月定例会で300回の節目を迎えました。これを記念して、11月30日に和歌山市内で現職の県議員や元議員、知事、県選出国会議員など約100名が出席し、開会300回記念式典を開催しました。

谷議長は、「半島性からの脱却は、現在に至っても克服すべき重要な課題であり、なお一層の努力を重ねたい」と式辞を述べ、元議員代表の鈴木俊男氏が「300回記念よせて」と題して県議会での思い出を語りました。また、駒澤大学の大山礼子教授が記念講演を行いました。式典の最後には、谷議長が、県民の期待と信託に応え、県民の代表としての議会の使命の達成に全力を挙げて取り組むことを宣言しました。

### お問い合わせは県議会事務局各課まで

総務課	議会庶務、情報公開など	☎073-441-3560 FAX073-441-3559
議事課	傍聴、請願、陳情の受付など	☎073-441-3570 FAX073-441-3575
調査課	調査業務、議員提案条例など	☎073-441-3580 FAX073-441-3581